

経営 インド鉄道の貨物部門は厳しい成長目標を迫られる

原題: IR faces ambitious growth targets
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.170 No.11 (2014-11) p35-38

インド鉄道の貨物輸送量は10年前に比べて倍増しましたが、政府のモーダルシフトの方針により、トンキロベースのシェアを2032年までに30%から50%にすることを迫られています。今後の輸送量の増加を考慮すると、これは8倍にすることを意味します。この達成のためには、線路容量増加などの設備投資のほか、現在の主力であるバルク輸送に偏らず、耐久消費財、化粧品、自動車、宅配便などの輸送のシェアを高める必要があります。



出典: Railway Gazette International

インド鉄道の貨物輸送の大部分は単一品目の重量けん引列車です。

経営 フランス国鉄の戦略的経営

原題: A strategic direction
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.170 No.11 (2014-11) p25

SNCFは2015年1月、鉄道事業者と施設管理会社を傘下に置く国有の親会社となりました。フランス政府によって設定された3つの目標の1番目はサービス品質の改善で、高速輸送よりも大量輸送を優先するものです。2番目は年間10億ユーロの経費節減を目標とし、かつ、安全も重視します。3番目は海外市場の重視で、関連各社の活動によってSNCFの収入の33%を得るとしました。



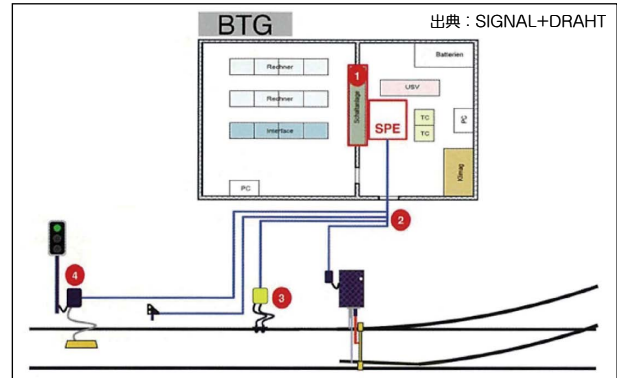
出典: Railway Gazette International

ドイツとフランスの運輸大臣の出席の下で、SNCF総裁とDB会長は両国の高速列車の共同運用を継続する協定に調印しました。

信号通信 過電圧と落雷に対する連動装置の保護

原題: Überspannungs- und Blitzschutz in Stellwerkanlagen der SBB
誌名: SD: SIGNAL+DRAHT Vol.106 No.11 (2014-11) p26-30

連動装置に過電圧や落雷が生じた場合、障害パターンの検出や保護、危険やリスクの所在、適用できる改善策などに関して、スイス連邦鉄道は内外の専門家と共に調査しました。そして、連動装置が設置された建造物の障害に対する耐性を向上させるため、総合的な保護コンセプトが決定されました。



建造物の内部・外部装置に対する保護部品の配置

- ① 仕切り部におけるケーブルシースの接地
- ② PASにおけるケーブルシースの接地
- ③ 電気信号の雷サージに対する保護
- ④ 車軸カウンターの雷サージに対する保護

車両 車軸軸受の状態監視システムの採用

原題: SJ embraces remote bearing monitoring
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.170 No.11 (2014-11) p64

スウェーデン鉄道は改修工事中のインターシティ車両SJ2000の輪軸に、Perpetuum社が開発したセンサーを取り付けることにしました。これは輪軸と軸受の状態監視を行うことで、信頼性の向上と保守の効率化をめざすものです。このセンサーは振動による発電電力で測定とデータ送信を行うので、電源配線が不要という特徴があります。設置する時間は20分と短く、すでに600両以上の使用実績があります。



出典: Railway Gazette International

スウェーデン鉄道の振り子車両X2000は改修工事を施工中です。右下はイギリスのサウスイースタン鉄道で使用されているワイヤレスの軸受センサーです。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒ 新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒ 問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp